

◆富士山の景色も見た！◆ ◆ 体重100kgを超える相撲部メンバーは地方遠征の移動も、広いスペース確保のためにいつも通路側を選びます

中大スポーツ

9月19日 金曜日
令和7年(2025) 第190号

中央大学体育部相撲部
発行人 志水 悠太
編集人 関 岳斗
八王子市中央7-2-1
電話 042-676-2892

らーめん
にんにくや

Instagram: ninnikuyaseki
Twitter: ninnikuya_h

応援してるぞー!!

VS日大	中大	決まり手
先鋒	兼田 負	寄り切り
二陣	今田 負	突き落とし
中堅	竹田 勝	はたき込み
副将	山田 勝	内掛け
大将	田村 勝	掛け投げ

中大スポーツ 団体相撲 強敵日大倒した!!

相撲部

◆第15回全日本大学選抜相撲金沢大会(7・20 卯辰山相撲場)「地方」がだんだんついてきた。昨年のインカレでは2部降格の屈辱も味わった中大相撲部。しかし、今年度の団体戦となった東日本インカレで6年ぶりの表彰台となる3位入賞を果たした。勢いそのまま出場した今大会では、準決勝で優勝候補の強敵・日大を破る。ぶちかっの逆転で破るなど快進撃を見せ、10年ぶりの団体準優勝を成し遂げた。

けがから復活今田

「みんなが相撲を取っているのは、金沢まで応援に駆け付けたのを見て、早く戻りたいかった。その「心で耐えたりハビリ期」や自宅での療養生活など、献身的なサポートで支えてくれた家族の存在があったからこそ、リハビリを乗り越えられたのだ。2月は土曜から消え、取組中にけがをしてしまった。仲間が稽古場の姿を横目に、ひたすら基礎練習に打ち込む過酷な日々が続いた。そして1年の時を経て、彼は帰ってきた。金沢の地でその鬱憤「うづぶん」を晴らすかのように躍動した。決勝トナメントでは力強い相撲でチームを勢いづけ、団体準優勝の原動力となった。観客席に激しく空を震わす今田。

栄冠は十和田で輝く

◆第60回全日本大学選抜相撲十和田大会(8・14 十和田市相撲場)
中大相撲部が創部以来、同大会で初めての栄冠を手にした。
東洋大との決勝戦、先鋒の竹田が敗れたものの、「自分で勝てたのがうれしかった」と二陣の市川太陽(法4)が下手投げにて勝利を収めると、それに続くように中堅の今田は送り出しにて快勝。さらに副将の田村は相手の動きを封じ込め、下手投げにて勝利、白星を先行させて優勝を確実なものとした。
大将の兼田尚柔(法2)は「大将は好きなので、勝てて良かった」とはたき込みにて勝利し、4-1の好成績で今大会を締めくくった。
試合後の取材で兼田は、「あくまでもメインはインカレ」と今大会において見つかった反省点を振り返りつつ、次なる目標を見据えた。

中央大学
多摩キャンパス内
芭蕉亭

バスターミナルにある芭蕉亭からの
お知らせ
お弁当のご注文・貸切パーティー等
お受けいたします。

詳細等要相談。ご連絡は下記まで。
090-6796-9023(注文専用)
042-670-1964(FAX専用)
担当 高澤まで

ラーメン二郎
八王子野猿街道店2

アルバイト募集

新入生大歓迎
部活会員募集

詳しくはDMで↓
@Jiro_Yaenkaido2



後輩のためにも

「後輩のためにも勝たないと」と気合十分で土俵に上がった田村だったが、立ち合いからまわしが取れず苦戦状態に。それでも土俵際の投げを制し、掛け投げで勝利を収めた。この一戦を勝利し、決勝戦へ進出する。しかし、決勝の日体大戦では力の差を見せつけられ、4で敗北。同大会の初優勝は幻へと消えた。惜しくも優勝を逃す結果となったが、これまで苦しくもきた「8強止まりの壁」を越え、チームは確実に成長を遂げた。インカレまで残り2カ月、選手が一人として目標を掲げ、来年の相撲部は「一歩進もう」。(小林悠)

相撲王国石川県

日本有数の相撲王国である石川県。古くは第54代横綱・輪島、そしてその輪島を抜き、史上最速で横綱に昇進した第6代横綱・大の里(三所ノ関)。中大のOBでは元大関の出島(平8卒・現大鳴戸親方)など、数々の名力士を輩出してきた。そんな地で育った今大会は、試合開始前から多くの人でにぎわい、目の肥えたファンが熱視線を送っていた。
中大は東日本インカレからメンバーを入れ替え、副将にルーキーの山田晴之介(法1)を起用するフレッシュな布陣で団体戦に挑み、予選トナメントは9勝10敗で危うくなく突破。5位、決勝トナメントに駒を進めた。
準々決勝は東国大と対戦。1-1と劣勢の中、田中監督から「肩の力抜いていけ」と声をかけられた山田が土俵へ上がる。立ち合いから相手の圧力に屈し土俵際まで追い詰められるも、うまく体を入れ替えて勢いそのままに寄り切った。入学して初めての団体戦出場だったが、「自分が負けたら終わりだったので、つなげて良かった」と安堵。大将戦は予選全勝の田村が4-4で押し出しで勝利し、3-2で準決勝進出を決めた。

準決勝は、予選でわずか1勝しかできなかった日大が相手。2点を先取され、後がない状況で土俵に上がった中堅・竹田連太郎(法2)は、相手の攻めを土俵際までうまくかわして逆転のはたき込みで勝利。「高校の後輩の山田もいたので、少しはチームを引っ張っていいかな」と熱い思いが、チームに火をつけた。続く山田は、一瞬の隙を見逃さず機転を利かせた内掛けで勝利。監督も「あれは大事なもの」と称賛する見事な相撲で、星を五分に戻した中大の命運は、再び唯一の4年で大将の田村に託された。

決勝は、予選でわずか1勝しかできなかった日大が相手。2点を先取され、後がない状況で土俵に上がった中堅・竹田連太郎(法2)は、相手の攻めを土俵際までうまくかわして逆転のはたき込みで勝利。「高校の後輩の山田もいたので、少しはチームを引っ張っていいかな」と熱い思いが、チームに火をつけた。続く山田は、一瞬の隙を見逃さず機転を利かせた内掛けで勝利。監督も「あれは大事なもの」と称賛する見事な相撲で、星を五分に戻した中大の命運は、再び唯一の4年で大将の田村に託された。

決勝は、予選でわずか1勝しかできなかった日大が相手。2点を先取され、後がない状況で土俵に上がった中堅・竹田連太郎(法2)は、相手の攻めを土俵際までうまくかわして逆転のはたき込みで勝利。「高校の後輩の山田もいたので、少しはチームを引っ張っていいかな」と熱い思いが、チームに火をつけた。続く山田は、一瞬の隙を見逃さず機転を利かせた内掛けで勝利。監督も「あれは大事なもの」と称賛する見事な相撲で、星を五分に戻した中大の命運は、再び唯一の4年で大将の田村に託された。

決勝は、予選でわずか1勝しかできなかった日大が相手。2点を先取され、後がない状況で土俵に上がった中堅・竹田連太郎(法2)は、相手の攻めを土俵際までうまくかわして逆転のはたき込みで勝利。「高校の後輩の山田もいたので、少しはチームを引っ張っていいかな」と熱い思いが、チームに火をつけた。続く山田は、一瞬の隙を見逃さず機転を利かせた内掛けで勝利。監督も「あれは大事なもの」と称賛する見事な相撲で、星を五分に戻した中大の命運は、再び唯一の4年で大将の田村に託された。

決勝は、予選でわずか1勝しかできなかった日大が相手。2点を先取され、後がない状況で土俵に上がった中堅・竹田連太郎(法2)は、相手の攻めを土俵際までうまくかわして逆転のはたき込みで勝利。「高校の後輩の山田もいたので、少しはチームを引っ張っていいかな」と熱い思いが、チームに火をつけた。続く山田は、一瞬の隙を見逃さず機転を利かせた内掛けで勝利。監督も「あれは大事なもの」と称賛する見事な相撲で、星を五分に戻した中大の命運は、再び唯一の4年で大将の田村に託された。

決勝は、予選でわずか1勝しかできなかった日大が相手。2点を先取され、後がない状況で土俵に上がった中堅・竹田連太郎(法2)は、相手の攻めを土俵際までうまくかわして逆転のはたき込みで勝利。「高校の後輩の山田もいたので、少しはチームを引っ張っていいかな」と熱い思いが、チームに火をつけた。続く山田は、一瞬の隙を見逃さず機転を利かせた内掛けで勝利。監督も「あれは大事なもの」と称賛する見事な相撲で、星を五分に戻した中大の命運は、再び唯一の4年で大将の田村に託された。

決勝は、予選でわずか1勝しかできなかった日大が相手。2点を先取され、後がない状況で土俵に上がった中堅・竹田連太郎(法2)は、相手の攻めを土俵際までうまくかわして逆転のはたき込みで勝利。「高校の後輩の山田もいたので、少しはチームを引っ張っていいかな」と熱い思いが、チームに火をつけた。続く山田は、一瞬の隙を見逃さず機転を利かせた内掛けで勝利。監督も「あれは大事なもの」と称賛する見事な相撲で、星を五分に戻した中大の命運は、再び唯一の4年で大将の田村に託された。

決勝は、予選でわずか1勝しかできなかった日大が相手。2点を先取され、後がない状況で土俵に上がった中堅・竹田連太郎(法2)は、相手の攻めを土俵際までうまくかわして逆転のはたき込みで勝利。「高校の後輩の山田もいたので、少しはチームを引っ張っていいかな」と熱い思いが、チームに火をつけた。続く山田は、一瞬の隙を見逃さず機転を利かせた内掛けで勝利。監督も「あれは大事なもの」と称賛する見事な相撲で、星を五分に戻した中大の命運は、再び唯一の4年で大将の田村に託された。

部活で培った力、社会で活かす道がここに

あなたへの道をPRすれば、企業からスカウトがきます!

優秀企業からスカウトがとどく!

ご紹介者様とご友人様にも2,000円プレゼント

LINE公式アカウントより登録してください!

ESキャリアはスポーツを愛する中央大学の学生を応援します。

中央大学

感動をありがとう!!

世界水泳 2025 男子200m 自由形

村佐 達也さん (総合政策1年/イデマン東京所属)

銅メダル獲得おめでとうございます!

写真提供: 共同通信社